

山形県立東桜学館中学校・高等学校

《施設概要》

事業主体：山形県
施設名称：山形県立東桜学館中学校・高等学校
所在地：東根市中央南1-7-1
用途：学校（中高一貫校）

《使用木材》



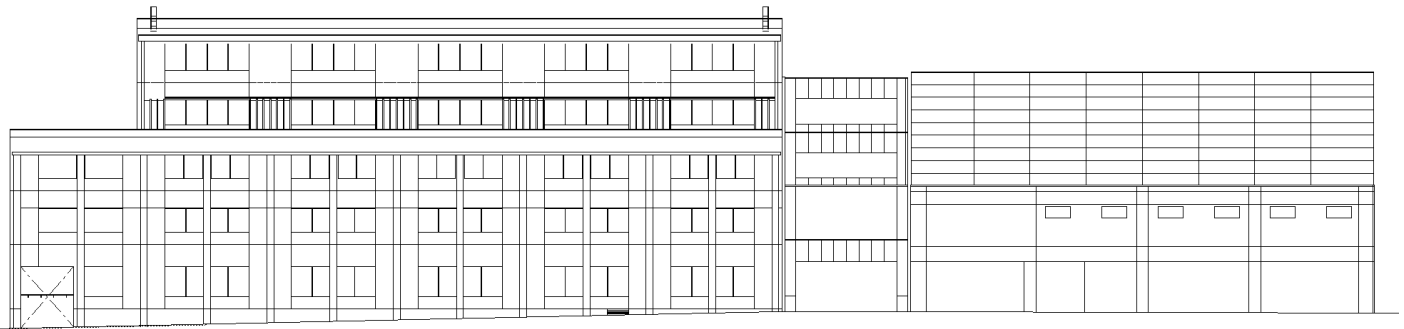
杉 108.45 m³、赤松 38.49 m³、
タモ 6.89 m³、その他 16.01 m³
計 169.84 m³（うち県産木材 108.45 m³）



《校舎棟外観写真》



《体育館棟外観写真》



《南立面図》

●施設の特徴、内容

平成21年6月に策定された「山形県中高一貫教育校設置構想」において、併設型の中高一貫校をモデル的に設置するとされたことを受け、山形県初の併設型中高一貫校である「東桜学館中学校・高等学校」を整備した。

中学校は各学年3学級（99名）規模とし、高校は各学年200名規模としている。

■建物概要

階数：地上5階
構造：（校舎棟）鉄筋コンクリート造
（体育館棟）鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造
敷地面積：24,000.06 m²
延床面積：（校舎棟）9,893.97 m²
（体育館棟）8,664.38 m²
各階床面積：（校舎棟）[1階]1,957.50 m² [2階]2,066.58 m²
[3階]2,162.31 m² [4階]1,869.89 m²
[5階]1,814.75 m² [R階] 22.94 m²
（体育館棟）[1階]3,656.83 m² [2階]3,565.03 m²
[3階]902.86 m² [4階]433.64 m²
[5階]106.02 m²
最高軒高：23.65m
最高高さ：23.85m
耐火・準耐火：耐火建築物

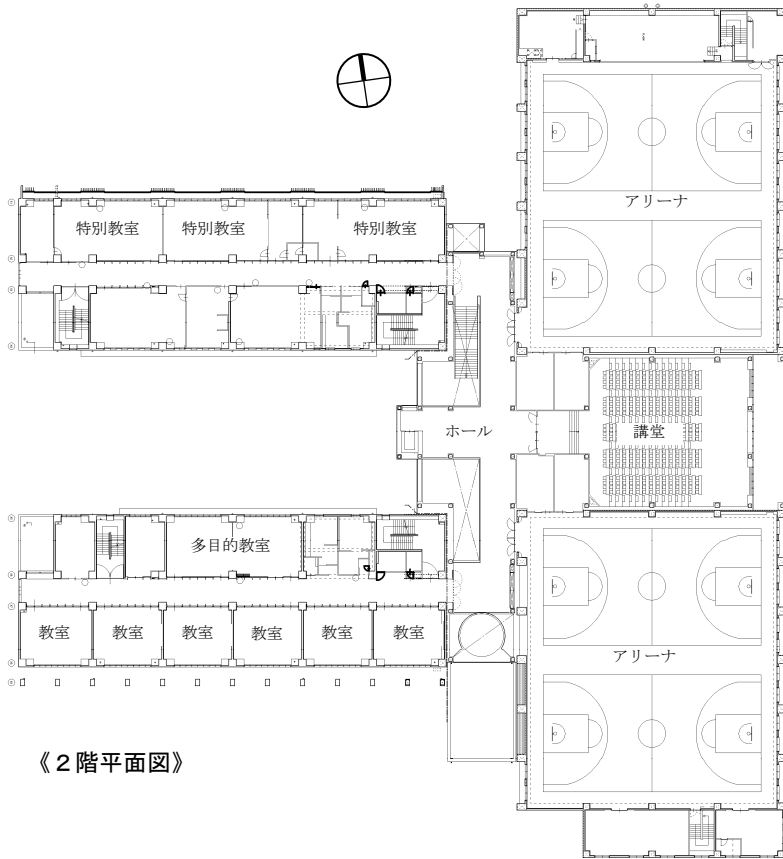
■主要仕上

外部仕上

（屋根）（校舎棟）コンクリート金コテ+アスファルト露出防水絶縁工法
（体育館棟）金属鋼板耐火サントイッチパネル
一部合成高分子系ルーフィング®防水
（外壁）（校舎棟）コンクリート打放し+低汚染型水性無機質塗装仕上
（体育館棟）上部：押し出し成形セメント板+複層塗材 RE
下部：コンクリート打放し+低汚染型水性無機質塗装仕上

内部仕上

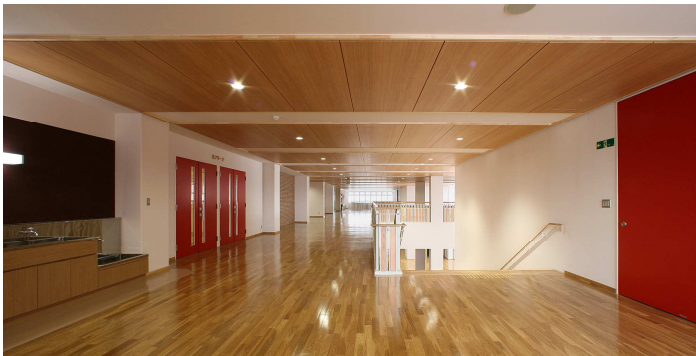
（床）（校舎棟）複合フローリング®、ビニル床シート
（体育館棟）複合フローリング®、ビニル床シート
アリーナ：鋼製床組み+大型積層カバ®フローリング®
（壁）（校舎棟）軽量鉄骨壁下地+せっこうボード®
+塗装仕上（一部杉羽目板張）
（体育館棟）軽量鉄骨壁下地+せっこうボード®+塗装仕上
（天井）軽量鉄骨天井下地+化粧せっこうボード®等（一部木格子）



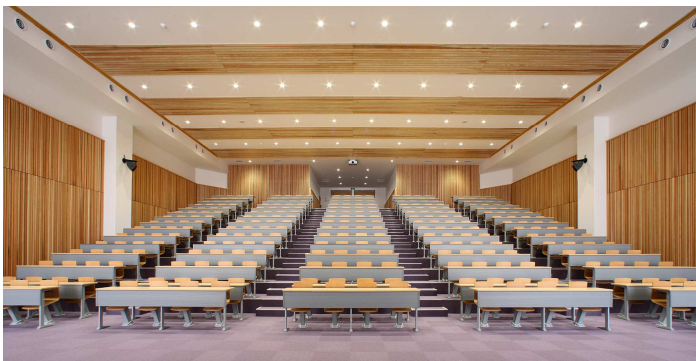
《教室》



《音楽室》



《体育館棟ホール》



《講堂》

●設計における工夫点

校舎棟と体育館棟をつなぐ部分に「交流ゾーン」を設定することで中高間の交流を積極的に誘発し、一体感を促すゾーニングとした。

中高の普通教室を北と南に分棟配置することで、発達段階に応じた学びの向上心を高めるゾーニングとした。

校舎棟を分棟化し、中庭を挟んで並列配置することで教室への採光と通風を確保した。

●木材を採用した理由

建物の規模から、構造は鉄筋コンクリート造及び鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造としたが、地域活性化への貢献を図るため県産木材の利用に配慮し、また、あわせて生徒への心理的影響を考慮して暖かみのある仕上げとすることとして、外部のルーバーや内部の廊下間仕切り壁に木材を採用した。

■事業概要

設計者：株式会社本間利雄設計事務所

施工者：(校舎棟建築) 市村工務店・千歳建設特定建設工事共同企業体
(体育館棟建築) 升川建設・丸伸建設特定建設工事共同企業体

(電気) 株式会社ジェック

(空調) 黒澤建設工業株式会社

(衛生) 黒澤建設工業株式会社

工期：平成 26 年 10 月～平成 28 年 2 月

設計費：129,150 千円

建設費：(校舎棟建築) 1,884,600 千円

(体育館棟建築) 2,014,200 千円

(電気) 430,952 千円

(空調) 386,116 千円

(衛生) 234,369 千円

(合計) 4,950,236 千円

1㎡あたりの建設費：267 千円